

各地域での観光地域づくりや、広域で連携した観光プロモーションなどの取り組みを紹介するコーナーです。

象の背(紀北町)

中経連では、自治体および団体をつなぎ、「本物にふれる経験」をコンセプトにインバウンド向けの3つのモデルコースを造成し、動画や記事の発信を行っている。

今回の「Go! Central Japan」では、前回紹介した「奥三河ー豊田市コース」に続き、三重県と地域の観光事業者に協力いただいた、「中部国際空港ー三重県東紀州」を旅する2泊3日のモデルコースを紹介する。

1 インバウンドに向けた訴求ポイント

今回紹介する東紀州とは、三重県の南部に位置する2市3町(尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町)を指し、東西を熊野灘と紀伊山地に挟まれ、海・山・川と豊かな自然が広がる地域である。また当地には、熊野古道伊勢路、鬼ヶ城、花の窟といった世界遺産をはじめ、日本の棚田百選の一つ丸山千枚田、築城の名手・藤堂高虎によってつくられた赤木城など、歴史・文化的な観光資源も数多く存在する。動画では、熊野古道の歴史を学ぶガイドツアー、紀州釜山で使用されていたレールを活用したアクティビティや海上アクティビティなど、外国人目線で選んだ体験プログラムを紹介している。

2 モデルコースで紹介する体験プログラム

熊野古道ガイドツアー: ガイドから熊野古道の歴史・伝統について説明を受けながら、重厚な自然石が敷き詰められた馬越峠を歩くことができる。伊勢神宮から熊野三山を目指した巡礼者と同じ経験をすることで、奥深い日本の精神性を体験している様子を紹介している。

海上アクティビティ: 松崎港から出ている観光船では、楯ヶ崎や鬼ヶ城など、自然



神武天皇上陸の地として伝えられる楯ヶ崎
圧倒的なスケールは訪れる人を魅了してやまない

がつくり出したリアス式海岸特有の奇岩や巨岩、コバルトブルーに輝く青の洞窟など、陸から見ることでできない壮大な海の魅力を体験できる。ほかにも、熊野灘で水揚げされる豊富な魚介類の直売所や食事が楽しめる旅館など、食を通じた当地の魅力も紹介している。



ガイドツアーの様子



豊富な魚介類を使用した食事

3 今後の取り組み

さまざまな外国人の関心を惹きつけるよう、観光資源の磨き上げに尽力する行政や地域の方々と連携し、より多くの外国人に訪れてもらえる観光プロモーションを探究・検証していく。

モデルコースの詳細については、中経連ホームページ(<https://www.chukeiren.or.jp/news/p3853/>)よりご覧ください